

ゆるり

本づくり応援マガジン VOL.25

特集

「自分を磨く」春からの習い事



馬場孟臣作「農家の牛」96×125cm

何か新しいこと始めませんかー

- 短歌／あすなる社
- 木版画／木の実会
- 随筆／毎日ペングループ長崎
- 水彩画／水葉会
- キルト／ベアーズ・ポー
- 短歌／やまなみ短歌会
- 絵画／アトリエK
- 俳句／ひこばえ句会／やよい会／深掘椽俳句会
- 人形／緋布の会岸ドル
- 写真／わが街、いさはやを撮ろう会
- 絵手紙／ひだまり
- 水彩画／友美会

早世の画家 馬場孟臣

歌集 時の幻想 杉山幸子

亀山社中ば活かす会25周年記念誌

龍馬がゆく道



自費出版サロン ゆるり

株式会社 昭和堂

「ゆるり」は長崎県内の
主なコンビニ・施設に
無料で配布しています。



短歌

特集

自分を磨く
春からの習い事

のススメ

短歌会

あすなる社

長崎近辺を中心に県内在住のお仲間と毎月一回、歌会を行っています。ときにお茶やランチを楽しみながら和やかに活動しています。

気軽に始められる短歌

子育てを終えて、また定年を迎えて、何か新しいことを始めたいと思っている方は多いはず。道具や心構えなど特別な準備を必要とせず、気軽に始められるもののひとつに短歌があります。「日本語が話せるなら誰でもできます。あとは紙とエンピツがあればいいのですからね」と、あすなる社代表の上川原紀人先生。とはいえ、やはり短歌ってむずかしそうな気がして…とためらう方もいらっしゃるでしょう。あすなる

社の会員の方々に短歌を始めたきっかけを聞いてみると、「たまたま知人に誘われて歌会に参加してみたから、面白くて：」、「与謝野晶子や鉄幹など、短歌を作るのは特別な人たちだというイメージがあっただけ、あるとき、日々の暮らしのなかで作られた女性の歌が目にとまって。本当は短歌ってとても身近なもので、自分にもできるかと思っただけです」。

どうやら、最初の一步をひよいと踏み出しさえすれば、身近で奥の深い五七五七七の世界に出会えるようです。

心を照らし出す短歌の効用

定年後、母親の介護に専念する六十代の男性は、友人に誘われてあすなる社の歌会に参加するようになりました。自分の心の内を照らし出し、他者へ投げかける歌作りが良い気分転換となり、日々の潤いにつながっているようです。上川原先生は、「喜怒哀楽を作品にぶつけることで心が洗われていくのです。歌が心の寄り処になるのですね」と言います。さまざまな人生経験を重ね、人知れず胸に秘めることも多い熟年世



昨年、90才になられた記念に出版した歌集『縁』。「多くの方に読んでいただき、328通のお手紙をいただきました」と山脇滋さん。作歌に励む毎日です。



短歌雑誌
「あすなろ」

この春で通算167号に。日本短歌連盟の「優良歌誌」に選ばれたこともある。

代にとつて、心を吐露する歌作りは計り知れない効用があるのかもしれない。

自由で開放的な
超結社

ところで、師のもとに集い歌を作る短歌会は「結社」と呼ばれ、たとえば、浪漫主義とか写生説など、それぞれの指導者の理念・作風からくる独自の流儀があるものです。

一方、一九七三年に設立したあすなろ社は、結社を超えて会員が集う、いわゆる「超結社」の短歌会です。

「長崎らしく自由で開放的な雰囲気のもと、のびのびと歌作りを学び合いますよ」ということでスタートしました」と設立者の上川原先生は言います。当時、超結社の活動はめずらしく、時代の先駆けとして全国の短歌会から注目を浴びたそうです。

あすなろ社のそうした姿勢は、短歌雑誌『あすなろ』（一九七三年創刊／季刊）によくあらわれています。通常、短歌雑誌では作者の力量にともなう階級制に応じた順で作品が掲載される

ことが多いなか、『あすなろ』では初心者と熟練者の区別は無く（全同人制）50音順で載せるという極めて民主的なやり方を通していきます。

さらなる精進を
めざす九十年代

現在、あすなろ社の会員数は約百六十人。長崎を中心に東京、千葉、京都、大阪、



福岡、熊本、さらには海外（台湾）在住の方もいらっしゃいます。年齢も九才から九十八才までとたいへん幅広く、九十年代に至っては七人の方が元気に作歌に励まれているそうです。

そのお一人でいらつしやる山脇滋さんは、昨年春に歌集『縁』を刊行しました。「短歌を始めて十年。私の歌はまだまだ幼稚なのですが、こうして歌集にすると読んだ方からいろいろな感想をいただいて、とてもうれしい。百才まで生きなさいかんと思いました。もうちょっと勉強をして、納得のいく五七五七七に一

歩でも近付きたいですね」と意欲を見せます。

日常のひとコマを
歌に託して

あすなろ社事務局の上川原緑さんは、歌づくりを始めるのとそれまで見逃しがちだった日常のひとコマに目が行くようになると言います。「たとえば、季節の移り変わりの中で月の満ち欠けや、日々の暮らしの中で琴線に触れたことなど。それを自分なりの言葉

で三十一文字のなかに表現したり、また作品として残せるところにも喜びがあると思います」。過去に作った歌を読み返せば、写真よりも鮮明に当時の思いや状況がよみがえるという人も多く、作りためた作品をまとめれば、一冊の自分史にもなります。人生をさらに味わい深くしてくれそうな短歌の世界。この春、あなたも一歩を踏み出してみませんか。

あなたも入会しませんか

短歌会「あすなろ社」

活動日：毎月第3日曜日 会場：三菱記念会館
参加費：歌会参加費300円
会誌に出詠の場合年会費8,000円(4回分)
会員数：160人 平均年齢：約60歳

代表者：上川原 紀人さん
お問い合わせ：TEL.095-827-5491



お問い合わせ時に「ゆるりを見た」とお申し出ください

木版画 のススメ

特集
自分を磨く
春からの習い事

木版画グループ 木の実会

自分らしさを 表現できる木版画

木の実会は、一九七五年梶川清彦先生を講師として「版画講座」を開講し、講座修了後の一九七七年（昭和五十二年）七月に発足しました。

会の目的は、木版画が好きな人が集まって、木版画の技法や制作等を学び合い、少しでも自分らしい作品を作ることです。木版画は作った人の個性が表現されますので作品の比較や優劣はありません。活動内容は、毎月第三木曜日の例会、五月と八月は講習会、十一

月は展覧会、十二月は忘年会を開催しています。その他、スケッチ旅行等も実施しています。

講習会では、下絵の検討や版木の彫り方や和紙の摺り方等を学んでいます。また、展覧会では、自分達の作品を展示し、多くの人に鑑賞して貰いアドバイスを聞いたり、他の会員の作品を鑑賞することが次の作品の参考になり、ステップアップにもなります。



木の実会 30年のあゆみ
木版画集

あなたも 入会しませんか

木版画グループ「木の実会」

活動日：毎月第3木曜日 18:30～

会場：松の森神社老松殿 ※初心者向講座あり

参加費：年間5,000円 ほか約8,000円

会員数：26人 平均年齢：65歳

代表者：永野 啓章

お問い合わせ：TEL.095-820-9139

窓口担当者：増山 良明

お問い合わせ時に
「ゆるりを見た」と
お申し出ください



ギャラリー好風にて展覧会

随筆 のススメ

特集
自分を磨く
春からの習い事

作家気分が味わえます

私達の「毎日ペングループ長崎」は「はがき随筆」の会です。会員は県内に約五十名で年に四〜五回、長崎市、諫早市、佐世保市等の会場で会員相互の親睦と文章力向上の講話等を企画しています。年会費は二千円です。投稿ははがきか、メール、FAX等に約二百五十字で自由に自分の想いを書き、毎日新聞長崎支局に送付します。投稿の全作品が掲載される訳ではありませんが、掲載された時の喜びと同時にその日のNBCラジオで放送されるので、知人、友人、身内等からの嬉しい反響があり、一瞬

毎日ペングループ長崎 随筆を毎日新聞に投稿してみませんか

毎日新聞・長崎県版
はがき随筆集
第四号



あなたも 入会しませんか

毎日ペングループ長崎

活動日：年間を通じて

会場：長崎県内 ※初心者向講座あり

参加費：年会費 2,000円

代表者：崎本 信芳

お問い合わせ：毎日新聞長崎支局

TEL.095-824-0700

窓口担当者：三浦さん

お問い合わせ時に
「ゆるりを見た」と
お申し出ください



「作家」になった気分（錯覚）を味わいます。（笑）そんな作品を集めて二年に一回「はがき随筆集」を発刊して、会の活動を盛り上げています。その本を知人・友人・身内等に配って喜ばれる、本当に嬉しいものです。どうですか？ 私達の会に入会してみませんか？ 会員同士での茶会、飲み会も楽しい一時です。

松林重宗画文集
長崎を描いてさるく



あなたも入会しませんか

水葉会 (すいようかい)

活動日：毎月第3水曜日
参加費：1,000円
他、水彩画道具など 約10,000円
会員数：11人 平均年齢：73才

代表者：松林 重宗
お問い合わせ：
携帯 .090-5478-7973

お問い合わせ時に「ゆるりを見た」とお申し出ください



月に一回、長崎近郊に出かけて写生をしています。夏には雲仙や大村の黒木溪谷などにも出かけます。「楽しい」と書きましたが、ピクニック気分に参加してもらっては困ります。会の皆さんは一生懸命描きますので、初心者が付いて行けないかも知れません。でも、私と一緒に風景を描きたいと思っている人は歓迎です。そんな熱心

な人には私のアトリエで特別に入門講座をしてもいいと思っています。他にも趣味があつて忙しい人は、そちらに集中してください。車で出かけますので車を持っていく人、連絡と安全確認のためメールの出来る人を望みます。将来、私のライバルになって一緒に展覧会に出そうと思っている人は居ないかなあ。

特集 自分を磨く
春からの習い事
水彩画
のススメ

水葉会

自然の中で
楽しいスケッチ



ギャラリー好風にての作品展

あなたも入会しませんか

キルトサークル「ベアーズ・ポー」

活動日：土・日以外 午前の部10:30~12:30
午後の部13:30~15:30

会場：新地教室、自宅教室(光風台)
参加費：月謝3,000円
作品の実費、布の持込は歓迎します。

代表者：小江 孝子
お問い合わせ：TEL.090-3014-8530

お問い合わせ時に「ゆるりを見た」とお申し出ください



針仕事の苦手な方も
気持ちさえあれば大丈夫
キルトサークルベアーズ・ポーについて御存じですか？ 長崎市内で活動しているパッチワークのサークルです。小さな一枚の布から毎日使うバッグやタペストリー等、色々な物の形にしていきます。針仕事の苦手な方もやってみたいという気持ちさえあれば大丈夫です。毎年十一月末に開催している作品展では会員の個性あふれる大小の作品がところ狭しと展示されます。

また、サークルでは震災後ベビーキルト八十枚を送ってからずっと福島の方へ手作りの物を送っています。自分たちがパッチワークが出来る環境にいることに感謝しながら社会に恩返ししようという思いです。この活動は細く長く続けていこうと話しています。サークルの一番の魅力はみんながやさしくて明るい事です。手と口を動かして楽しい時間を一緒に過ごしましょう。体験も大歓迎です。

特集 自分を磨く
春からの習い事
キルト
のススメ

ベアーズ・ポー

習い事は楽しく
なくっちゃですね



短歌

の特集
自分を磨く
春からの習い事

やまなみ 短歌会

県内在住の
幅広い年代層が活動中

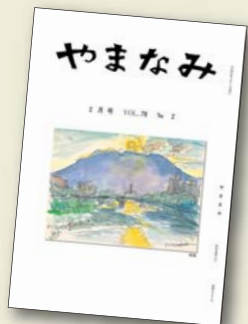
短歌は五・七・五・七の調べに乗せて、見た物、心に浮かんだことなどを表現する定型詩です。ちょうど日記を書くように、日々の歌ができていき、歌の仲間との交流を通じてそれらがより良い作品となるよう研鑽を積んでいきます。

「やまなみ短歌会」では、月一回の歌会、同じく短歌講座（初心者にとってより理解し易い指導を行う勉強会）を開催しております。

歌作りは決して難しいものではなく、また、当会の歌会、短歌講座への出席、歌誌「やまなみ」の

講読を通じて歌の仲間とのお付き合いが広がって行く、という風にお考え下さり、気軽にご参加いただきたいと考えております。なお、「やまなみ短歌会」は全国に選者と会員を有しており、よりレベルの高い活動も可能となっております。

まずは短歌の初心者の方々が、短歌講座において下さり、短歌の魅力を知っていただければ幸いです。



やまなみ2月号
昭和十年菊池剣創刊
やまなみ第78巻
通巻887号

あなたも
入会しませんか

やまなみ短歌会 ※初心者向講座あり

	①歌会	②短歌講座
活動日	毎月第2日曜日	毎月第1木曜日
会場	諫早図書館	諫早市中央公民館
会費	1,000円	無料
窓口担当	草野 百合子	長島 洋子

代表者：水落 博

お問合せ：諫早市本明町459（草野百合子）
TEL.0957-25-2270



お問い合わせ時に
「ゆるりを見た」と
お申し出ください



絵画

の特集
自分を磨く
春からの習い事

絵画教室 アトリエK

絵を描くことで
感性が目覚めます

絵の中には自由な世界が広がっています。絵を描くことで感性が目覚め自然に育てられていきます。日常的な時間からはなれて好きなことに熱中することが感情を豊かにし感性を育てるのです。

絵は上手、下手の外にある世界です。教室では初心者への手ほどき、いろんな画材による技法、絵の鑑賞のための知識などが学べます。

年に一度のグループ展は参加自由で、街中の画廊で開きます。水彩、油彩、パステル、色鉛筆などを使っていろんな表現を試みませんか。

さあ、あなたも自由に楽しい絵の世界へどうぞ！



あなたも入会しませんか

絵画教室「アトリエK」

活動日：毎週木曜日 13:30~16:00 夜の部 18:30~21:00

会場：長崎市元船町6-1 NSビル3F アトリエK

会費：入会金 7,000円、月謝 7,000円

消耗品の絵の具類とキャンパス、紙等で、最初に揃える道具 10,000円~20,000円程度

代表者：岡 和臣

お問い合わせ：TEL.095-839-1370

お問い合わせ時に
「ゆるりを見た」と
お申し出ください



楽しく絵を描く事で感性を育てよう

原田 星村
句集 西坂
鶴叢書第三二二篇



あなたも入会しませんか

ひこばえ句会

活動日：毎月第1・第3金曜日
会場：千歳町 北公民館
参加費：月1,500円
代表者：川崎 征子
お問い合わせ：
TEL.095-847-8370

お問い合わせ時に「ゆるりを見た」とお申し出ください

特集 自分を磨く 春からの習い事
俳句のススメ

北公民館 ひこばえ句会

目と心で抱えた五七五を一生の楽しみに

俳句は楽しいですよ
私共の「ひこばえ句会」は平成元年千歳町「北公民館」で林かつみ先生指導のもと講座がはじまり、先生ご逝去のあと、原田星村先生に引き継がれ指導を受けており、現在二十五年という息の長い真面目な句会です。高齢の女性が殆どですが二名の男性の存在が明るさを醸しております。句会は、第一第三の金曜日の月二回、午前十時から正午まで、各自三句提出、限られた時間ですが、それぞれ自分の意見を述べます。

あなたも入会しませんか

やよい会

活動日：毎月第1・第3月曜日 (10時~12時)
会場：長崎中央公民館研修室
参加費：月1,500円
代表者：林田 邦彦 (平成26年度)
お問い合わせ：
TEL.095-822-2123



お問い合わせ時に「ゆるりを見た」とお申し出ください

あなたも入会しませんか

深堀椽俳句会

活動日：毎月第2・第4木曜日
会場：深堀公民館研修室
参加費：月2,500円
代表者：山崎 葉子
お問い合わせ：中村 喜代子
TEL.095-871-3412

公民館学習講座 俳句 やよい会

素直な眼と心で優しい五七五の珠玉の句

風花や錦絵めきて 眼鏡橋
中島川、眼鏡橋のたもとに立つこの句碑をご存知の方は多いと思います。理屈抜きでこの句にはとても引きつけられるのですが、いかがでしょうか。作者の下村ひろし先生は、句誌「棕櫚」の主宰で、その没後後継誌として昭和六十一年に「西陲が発刊されました。私共「やよい会」指導者の原田星村先生は「棕櫚」「西陲」同人として六十年のキャリアをお持ちです。句会についてですが、若男女十数名が仲良く、しかも真剣に五七五に取り組んでいます。個人差、経験差があるのは当然ですが、実作の句を持ち寄り投句、清記、選句という段階を経て、自分が選句した句につき意見を述べます。お互い鑑賞しながら先生の指導を受けられます。添削を受けることもあります。年に二回は希望地を選定吟行を実施します。男性の多い句会は楽しく長続きするといわれます。俳句は長寿の源、頭の体操のためにも是非私共の「やよい会」にご参加ください。

やよい会 十一月 中央公民館
友道きて色なき風の別れかな 榎木 一好
自稱ガイド翁 蘆薈を秋の川 林田 邦彦
臨風湧飲んで寝につく夜長かな 佐々木 邦彦
手揉みして葉敷敷ふ松手入れ 荒木 新樹
背表紙を眺めて終へし文化の日 岡田マツミ
夢殿の中まで射さず秋日渡し 平山 佳子
いと昔しよもん市の走り蓬妻 水橋 敬子
未結して山裾の風尖り出す 渡海 康子
柿落葉ベンチに吹きよる色のあや 秋山 洋子
城崎文学館前
直哉の碑 小栗深空より降りて 原田 星村

とち 深堀椽俳句会

心に響いたことを俳句で残しましょう！

俳句会へのお誘い
深堀は古い伝統と近代的な造船の盛んな町です。公民館の窓からは武家屋敷の石塀が見え、季節折々の花を眺めることが出来ます。
私達の句会が高齢者が多く、少々のんびりしていますが和やかでまじめな句会です。「むつかしそうで、私にはどうも……」という方は一度参加してみてください。五七五で自然や日常生活の心に響くひとこまを残しましょう。
俳句会は月二回、一回当り二時間位です。一回目は、原田星村先生においで頂いています。二回目は、自主学习ということになりませんが、会員の出した作品について、各々意見感想を述べあいます。そして先生へ郵送し添削をお願いしています。会員七人のどの句にも細かい助言や指導を頂き、こんなに恵まれた句会はないと思っています。



人形

自分を磨く
春からの習い事

緋布の会 岸ドール



残り布で心温まる
プレゼントが出来ます

人形と戯れる

幼い頃から一人っ子だった私は、着せ替え人形を友として暮し七路の現在に至ってもなお人形と戯れて、その時間が何物にも替え難い無我になれる幸せの時です。人形の学校に通うこと二十数年、大阪まで夜行で毎月、進めば進む程奥は深く、最後の特級免許を取得するもなお終りなき道ですが、数年前から又、新しい球体関節人形というリアルな人にも似た動きと姿に魅せられて、京都や福島県まで

緋布一門作品集



長崎の夢

あなたも入会しませんか

緋布の会「岸ドール」
活動日：月曜(衣裳人形) 土曜(球体関節人形)
どちらも9:30~16:00
会場：メルカ築町、大瀬戸コミュニティーセンター
参加費：2,000~4,000円 ※初心者向講座あり
会員数：35人 平均年齢：65歳
代表者：岩崎 岸代
お問い合わせ：
TEL.0959-22-0187

お問い合わせ時に「ゆるりを見た」とお申し出ください



写真

自分を磨く
春からの習い事

わが街、いさはやを撮ろう会



写真を撮って、見て、飾ることを楽しむ。

写真が好きなひと集まれ

写真の「撮る」「見る」「飾る」を楽しむ。
写真の楽しみ方はいろいろです。写真は、今やデジタル時代。デジタルカメラが売れるのに、町の写真屋さんが消えていく…。結婚式は携帯カメラマンに独占されているが、ナイアシヨットがプリントされることはない。子供たちの成長記録も、お父さんがカメラで撮った力作をお母さんが手間暇かけて作る愛情の手作りアルバムよりも、ブログやカメラ店のフォトアルバムと時代は変わって来ました。データでパソコンの中に眠って

いる写真をプリントして飾ってみませんか？一枚の写真の大切さと本来の写真的価値観がだんだん失われて行くのは寂しく思います。もう一度、写真の大切さを一緒に考えてみましょう。《わが街、いさはやを撮ろう会》は、諫早の風景、風土に触れながら写真を撮るを楽しむ会です。写真が好きな、老若男女の方々、集まれ!!初心者歓迎。

浜辺耕作フォト 踏絵の記憶



あなたも入会しませんか

わが街、いさはやを撮ろう会
活動日：毎週木曜日 13時~15時
第1、第3木曜日 写真教室 (写真全般)
第2、第4木曜日 午前中近場の撮影会 (カメラ持参)
午後パソコンの簡単な利用法教室
会場：アエルいさはや2F ウェスラン大学まちづくり研究室
会費：基本的に無料。但し、活動費として一回1000円
会員数：17名
代表者：浜辺 耕作
お問い合わせ：諫早市栄田町 1040-19
浜辺 耕作
TEL.0957-26-4255

お問い合わせ時に「ゆるりを見た」とお申し出ください



特集
自分を磨く
春からの習い事

絵手紙

のススメ

絵手紙教室 ひだまり

絵のなかに言葉のなかに
あなたがいる私がいる。



『喜びをわかち合える幸せ』

母の笑顔が見たい、寄り添う気持ちが大切にしたい、という思いがいつしか水彩画から絵手紙に変わり、二〇〇六年、娘の後押しで絵手紙の本を出版し、同時に個展を開催しました。同年十二月より約二年間長崎新聞「絵手紙de愛」の欄の選者を担当したことで、より多くの作品と人たちに出会う機会を得ました。暮らしのありようの中で気持ちを伝える絵手紙の素晴らしさ、楽しさに益々惹かれ、

それがきっかけで絵手紙教室「ひだまり」を開講することになりました。自分らしさを大切にして、伝える喜びを探しながら、言葉を選び色を楽しむ教室です。月一回、思いがぎゅっと詰まった絵手紙を皆で和気あいあいと描いています。また昨秋開催したひだまり展では、三百二十点余の作品を観賞していただき、温かな交流も生まれ優しい空気に包まれました。

笑顔溢れるひだまりのような教室です。

わたしの色を絵手紙にして
ひだまり



あなたも
入会しませんか

お問い合わせ時に
「ゆるりを見た」と
お申し出ください

絵手紙教室「ひだまり」

講師：國分 洋子
受講日：月1回／第1もしくは第2火曜日
会場：喫茶ミレー3階（新大工町）
参加費：入会金500円 月謝1,500円
ほか、ポストカード、画材道具

お問い合わせ：國分 洋子
TEL.070-5535-1819



特集
自分を磨く
春からの習い事

水彩画

のススメ

友美会

風景を描く
グループ

風景画は慣れですから まずは始めてみませんか？

風景が好きで集まった会で和気会々に風景画を楽しんでおります。毎月第一木曜日と第三木曜日、外で写生をしております。風景画は慣れですから、まずは始めてみませんか？ 一年後、二年後が楽しみです。

会では皆さんと描く事で、力もつき後々は一人で好きな時間を楽しめたいです。水彩に関しては指導もお手伝いします。年一回のグループ展も楽しみになります。季節の変わり目も違って来ます。車を持って一人では写生に行かないので、こういうチャンスに始めてみましょう。写生で体も動かし自然も満喫してみましょう。自分の為になります。郊外に写生に行きますので、車をお持ちの方は都合がいいです。



カレンダー
魅せられて
NOGAMI FUJIE



あなたも
入会しませんか

お問い合わせ時に
「ゆるりを見た」と
お申し出ください

友美会（ゆうびかい）

活動日：第1、第3木曜日
会場：写生地
参加費：年間4,000円
ほか、グループ展示の経費、交通費自己負担等

代表者：野上 藤江
お問い合わせ：TEL.095-839-1512





庭 (日本畫院第五回展 入選) 147×95 cm



浴衣の女 147×95 cm

同級生 信太金昌氏談より (本文抜粋)

「馬場は同期のみんなで作画の実力がすば抜けていた。学内コンクールでは一席(トップ)が多く、文部省から数点買い上げられていた」

「昭和18年は、美校では通常授業はなりたたなくなっていたころ、馬場と私は、横山大観先生の自宅を訪ね、荒廃した学校の現状を説明し、改革を訴えた」

「馬場の絵は、技術はもちろんすぐれていたが、人柄を反映してか、絵にあたたかい温もりがあり人間味があった。あの若い時代の未完成の絵が、いま見ても立派に通用する。もし(長く)生きていたならば、確実にわが国トップの日本画家として大成していただろうと思う」



戦中・戦後の混乱期に多感な青春時代を過ぎた郷土出身の芸術家。昭和24年若くして、28歳で亡くなるまでの軌跡を辿った遺作品集

早世の画家
馬場孟臣

馬場 史子 編

- 発行 平成26年12月
- 非売品
- サイズ 235×305ミリ
- ページ 124頁
- 上製本 布クロスカバー付



横浜外人墓地 126×188 cm



昭和19年9月の繰り上げ卒業式の写真

撮影後、写真館が火災により全焼されたため、試し焼きとして本人が預かったこの1枚だけが残る。長くだれも知らなかった幻の写真



秋の富士 133×65 cm



早春二題 114×32 cm×2軸

馬場孟臣年譜

- 大正10年(1921) 長崎県南高来郡南山町生まれ
- 昭和13年(1938) 長崎県立(旧制)諫早中学校卒業
- 15年(1940) 東京美術学校(現東京芸術大学)入学、日本画専攻
- 18年(1943) 22歳で日本畫院第5回展に入選「庭」
- 19年(1944) 9月22日戦時下による、繰り上げ卒業式
- 日本畫院第6回展に入選「庵のある風景」(行方不明)
- 21年(1946) 再興第31回院展に入選「家」2点(行方不明)
- 山本丘人先生や同級生らと新日本画協会を設立
- 22年(1947) 健康上の理由より帰郷する。その後長崎中学校(現在長崎東高等学校)の美術教師となる
- 23年(1948) 山中清一郎氏と「長崎県展」の創始に尽力する
- 24年(1949) 再び健康を害し、11月7日28歳にて、逝去

時の幻想

杉山 幸子 著



片手に過ごすようになつていて、

それから二十年以上がたつた。そしてやっと気がついた。

私の中の言葉たちが、短歌という形をとり、うれしそうに呼吸をしているというところを。

幼い頃から本が好きだった。文字が読めないときは母の読み聞かせに夢中になり、読めるようになるまでと次々と呼ばれた本を手に取った。そう、本が私を呼んでくれる。そこに綴られた文字により広がる世界が私を呼んでくれている。言葉は音と文字とで私の中に存在していた。

仕事の縁で短歌と出会った。最初は無理だと逃げていたが、作り始めると懐かしい不思議な感覚にとらわれた。自然とリズムにのって現れる言葉たち。いつのまにか、いつもメモを

この歌集は第三歌集「うさぎ迷宮」のあとの作品を集めたものです。過去の三冊の歌集は、表現できる喜びを紡いで出来た本だと思えます。表現したい思いが、一気に力をくれて作り上げた本だと思えるのです。

その後、喜びだけでないものにぶつかりました。「短歌とは何？」という問いかけが私の中に生まれたのです。

迷いの日々の始まりです。そんな日々でも、時間は規則正しく進んでおり、その中に

水の幻想

うさぎ迷宮



私はいました。その流れの中、考え、振り返り、立ち止まり、泣き、笑い、悲しみ、苦しんできました。けれども、短歌を詠むことから離れることはありませんでした。今でも「短歌とは何か」はわかりません。でも、呼吸するように、思いは短歌の形になり現れてくる。どんなときも短歌は

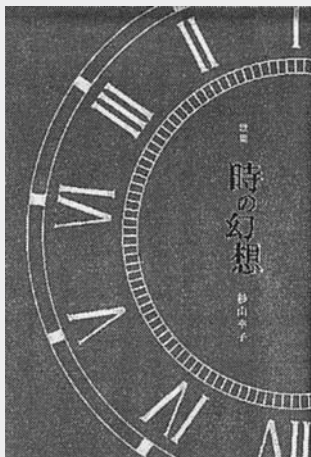
私のそばにありました。ならば、真正面からもう一度、向き合ってみようと思いついたのです。この歌集は、私の新しい出発のような一冊になりました。ここから、また、心を澄ませ、作品と向き合っていこうと思っております。「一生表現者でいたい」という、思いを胸に……。 (あとがきより)

歌集

「水の幻想」「水の幻想」「水の幻想」に次ぐ著者の第4歌集。1965年横浜市生まれ。父親の転勤に伴い長崎へ。郷土歌誌「あすなろ」代表の上川原紀人氏に出会い93年から作歌。あすなろ賞を受賞。現在同誌編集委員で歌誌「水甕」同人。「水の幻想」で県文学新人賞、「うさぎ迷宮」で日本歌人クラブ九州ブロック奨励歌集賞を受賞している。

時の幻想

杉山幸子 著



シリーズ第四弾というところか。こうした想いは、私たちがとって普遍的である」と共感と理解を示している。海になり魚にもなる。そんな夢から覚めたときあざやかに描きだされた再生の歌として「目覚めればわれの身体の輪郭が力をもろく薬なりビスコ

を買いにコンビニへ寄る」など、てらいなく素直に心情を吐露した作品にも作者らしい感性と表現が光る。羽だけが鳥であったと主張する死骸を波がやさしく撫でる野の花の秘めたる想い託されて紋白蝶は手紙となれり美術館のチラシで作るブックカバー ゴッホがハイネの詩をくちびさむ「呼吸するように、思いは短歌の形になり現れてくる」と筆者。春日氏以後「創作試行は続くであろう。その展開が楽しみです」と期待を寄せる。水甕叢書第874編。出版協力ゆるり書房(電095・8288・1790)。(川崎雅典)



出版本

ここでご紹介する出版本は、
サロンゆるりまでお気軽にお問い合わせください。

2015年2月現在

タイトル	著者	定価(税込)
自分史ノート「自分史のススメ」	ゆるり書房	864円
キラキラ 人生を輝かせるたった5つの大切なこと	ごうまなみ	1,620円
諏訪神事 長崎くんち 取材記録	土肥原弘久	2,160円
きくちゃんのうたVol.2	ひらた きくよ	1,620円
きくちゃんの詩	ひらた きくよ	1,296円
Assendelft(アッセンデルフト)	金丸 洋子	3,240円
JOFA式フラワーアレンジ	日本オリジナルフラワー協会	1,296円
決先生の外国史講義	宇田川 決	2,160円
ふるさとの昔 島原今昔	宮崎昌次郎	1,620円
英文法徹底詳述集 1冠詞編	一宅 仁	3,024円
あなたに、幸せを届けたい!	村上 暁子	1,028円
俳句のすすめ	築城百々平	1,234円
365 +o micca	micca	864円
長崎いさな物語	浦上 修	1,296円
身体にたのもう!	植田 成文	1,944円
長崎県央のスマレ	植田 成文	1,296円
夜のカナリアたち	森 ぶんめい	823円
ゆうたくんごめんね	作/東フミ子 絵/関口拓志	1,080円
じゅんくんあそば	作/東フミ子 絵/関口拓志	1,296円
誰も知らないお経の真理(I)	大嶽 巖	1,543円
老いの細道メモリー	中村 土規	1,028円
未知への道	中村 土規	1,028円
長崎を描いてさるく	松林 重宗	2,160円
松林重宗水彩画集	松林 重宗	3,240円
神様からの贈りもの	幸夏 涼	1,296円
おくさん	松田 純子	540円
訓薫諫甘	宮城 ま咲	1,296円
ディアコニー	E.バイロイター著 山城 順訳	2,700円
長崎半島・汚池姫伝説の謎	境 俊幸	1,028円
島原藩の経済	高木 繁幸	2,571円
ソシテ・イマデモ	城 加奈子・青木 純子	1,234円
イツモノ・イツカ	白石加奈子・江崎 純子	1,234円

タイトル	著者	定価(税込)
昭和20年8月長崎市地図	出口 輝夫	540円
被爆	恵の丘原爆ホーム	1,028円
たぬきのおくのほそ道	堤 けんじ	3,086円
ながさき子ども等		
学校生活編/地域の暮らし編/	永山 絹枝	各1,234円
自然・社会・平和への願い編		
五島雑学事典	永治 克行	2,057円
気づいた時が出発点	一ノ瀬恵介・久嗣・裕士	514円
日本人の心はおもしろか	緒方 源信	823円
生きる心の綾錦	緒方 源信	823円
共存の心やわらぐ長崎の街	緒方 源信	720円
命のすじみちすすむ道	緒方 源信	720円
たゆたう(二)~(十)	松本 風作	各1,028円
島原城の話	渋江 鉄郎	1,480円
島原魂	渋江 鉄郎	1,900円
島原秘話	渋江 鉄郎	1,400円
島原ばなし	渋江 鉄郎	1,280円
眉山ものがたり	渋江 鉄郎	980円
島原一揆	渋江 鉄郎	1,400円
島原ぢゃんば	渋江 鉄郎	1,950円
諫早文化の年輪	(株)昭和堂	2,100円
諫早史談の年輪	(株)昭和堂	2,100円
諫江百話	諫早史談会	2,000円
諫早史談	諫早史談会	600円
諫早地方の風土	諫早史談会	5,000円
ドミニカ共和国の人と自然	宮田 彬	3,150円
九州の石橋(前編)		1,500円
九州の石橋(中編)	山口 祐造	1,300円
九州の石橋(後編)		1,100円
西陲騎葩(せいすいきは)	邑上 益朗	2,800円
もう一人の少年使節ドラード	青山 敦夫	1,200円
諫早を歩く	山口 八郎	850円

斉藤絹子の



放送中
きいてネ!!

『昭和堂
笑顔のレシピ』

毎週金曜
あさ10:35より



『スローライフ
人生輝きの
オススメ』

毎月第3木曜日
ひる2:00より



毎月第3木曜日午後2時
スローライフ「人生、輝きのオススメ」
ゆるりのお客様サークルを紹介中

NEW 新刊紹介



結成25周年記念誌
長崎に亀山社中あり
亀山社中ば活かす会

- 判型:A5判
- 頁数:320頁
- 製本:ガンダレ製本
- 定価:2,160円(税込)

(問い合わせは095-828-1454亀山社中資料展示場まで
土・日・祝日のみ開館)



歌集
時の幻想
杉山 幸子

- 判型:四六判
- 頁数:230頁
- 製本:上製本
- 定価:非売品



平成26年版
諏訪神事「長崎くんち」
取材記録
～見えないものを伝える
土肥原 弘久

- 判型:A5判
- 頁数:106頁
- 製本:ガンダレ製本
- 定価:1,080円(税込)

(問い合わせは090-2500-0597土肥原さんまで)



歌集
沙羅のささやき
小野 富美枝

- 判型:四六判
- 頁数:192頁
- 製本:上製本
- 定価:非売品



ロータリーの霞
下田 隆雅

- 判型:105×172ミリ
- 頁数:174頁
- 製本:並製本
- 定価:Pay it forward

(問い合わせは095-823-1226下田さんまで)



別冊 さざなみ
(三根家雑纂)
古林 正夫

- 判型:B5判
- 頁数:152頁
- 製本:ガンダレ製本
- 定価:非売品



早世の画家 馬場孟臣 馬場 史子

- 判型:235×305ミリ
- 頁数:124頁
- 製本:上製本
- 定価:非売品



堀江禮二水彩画集 堀江 京子

- 判型:250×250ミリ
- 頁数:64頁
- 製本:ガンダレ製本
- 定価:非売品



戦後70年。今年こそ
自分史をまとめてみませんか
自分史ノート

2015年版 ゆりり書房

□A4判/124頁 □864円(税込)

記入式 自分史ノート
認知症予防にも効果的

人の数だけ自分史(ストーリー)はあります。
人は人生の大きな節目を目の前にするあたりで、一度「自分史をまとめてみたい」という想いに駆り立たれます。
でもいざ書くと「書き方がわからない」「書きかけがない」「昔のことが思いのほか思い浮かばない」というお言葉が返ってきます。長年自分史作成に携わっているゆりり書房が、今回この課題にお応えすべく、質問に答えていく形式で簡単に自分史ができる実用書を出版いたしました。
本編は「私のあゆみ」「エピソード自分史」「私の年表」「思いだしキーワード集」などいろんな切り口で楽しんで自分史ができるように工夫しています。子供やお孫さんから、おじいちゃん・おばあちゃんへのプレゼント用にもお役立てください。

亀山社中ば活かす会 25周年記念誌「龍馬がゆく道」



坂道の風景
～亀山社中ば活かす会 25年間の歩み～

◆記念誌の中身はどのような構成ですか？

紙面構成で苦心したことは？
本書は、2部構成としており、活動編を「坂道の風景」、亀山社中ば活かす会 25年間のあゆみ、考察編を「長崎に亀山社中あり」坂本龍馬と長崎についての多角的考察」と題しています。

◆今回25周年にして記念誌を作ろうと思ったきっかけは何でしたか？発刊の目的は？

この記念誌は、本会が平成元年5月の結成以来、平成26年5月で25周年を迎えたことから、これまでの歩みをまとめたいものです。また、今年（平成27年）が、亀山社中結成150周年にあたることから、これを記念した発刊です。

各種行事の開催など多岐にわたっています。



2部構成の内容を両開きで読めるように工夫しました。

25年にわたる長期間の活動内容を紹介するにあたり、機関紙「龍馬がゆく道」（第1号～第45号）の記事や写真などから膨大な情報を整理整頓する作業に時間がかかりました。

◆出来上がった感想は？皆様の反応は？

結成以来、本会のメンバーが何を思い、どう活動を進めてきたかをまとめることができました。貴重な記録として後世に残すことができます。思い出になる事柄も多く、懐かしく楽しく何度も読み返しています。

◆会の将来ビジョンはありますか？

本書の発行を含めた本会の活動により、龍馬ゆかりの長崎の歴史の豊かさとその魅力を、多くの皆さんにお伝えすることができればと願っています。

◆本日はありがとうございました。

活動編は、われわれがどのような活動を行なってきたかを12の章にわたりまとめた記録であり、今後の地域の歴史や文化を活かしたまちづくり



長崎に亀山社中あり
坂本龍馬と長崎についての多角的考察

「長崎に亀山社中あり」坂本龍馬と長崎についての多角的考察。林)についての興味深い考察や、忘れがたき思い出を綴った小文などを取り上げていま

◆発刊おめでとうございます。そもそも「亀山社中ば活かす会」とは「どのような会ですか？」
どんな活動を行っているのですか？
本会は「地域の歴史を活かしたまちづくり」を活動理念とする長崎市の市民団体です。活動内容は、かつて龍馬が結成した日本最初の商社と言われる「亀山社中」跡（長崎市伊良良）の活用をきっかけに、亀山社中資料展示場の運営、周辺の歴史散策路の整備、幕末維新史の学習研究、



日野原重明先生 百三歳記念講演会

「新老人の会」長崎支部フォーラム
ひのはらしげあき
「新老人の会」会長 聖路加国際大学名誉理事長

とき
2015年 **3/29(日)**
14:00▶16:00 [開場13:00]

ところ
長崎ブリックホール
長崎市茂里町2-38
TEL 095-842-2002

参加費
大人1,000円 学生500円

チケット取り扱い
・浜屋プレイガイド・草野書店
・メトロ書店・チケットぴあ

オープニング 長崎南山小学校コーラス部によるコーラス

第1部 講演
「いのちを守り、平和を築く」
—私たちが伝えていくべきものは何か—

第2部 コンサート
「祈りの四季 —長崎から—」
オペレッタ、作曲活動をしている長崎の子供達が長崎の祈りの四季を歌で表現していきます。

主催「新老人の会」長崎支部

連絡およびお問い合わせ先
「新老人の会」長崎支部事務局 TEL095-886-3090
〒851-3213 長崎市琴海形上町1178

自費出版サロンゆるり

TEL.095-828-1790

【担当:神尾、小川まで】

〒850-0875 長崎市栄町6-23 昭和堂ビル2F
FAX.095-823-8740
<http://www.showado.co.jp>



自分史、一族史、記念誌、社史、
追悼・遺稿集、実用書、アート作品集、
文芸作品集・エッセー集、
ライフワーク集、研究論文・報告書 等

経験豊かな“本づくりのプロ”が
お手伝いいたします。



サロンゆるりの 営業時間	
平日	あさ10時 ▼ よる7時まで
土曜日	あさ10時 ▼ 夕方5時まで

賑橋電停そば
ファミリーマートより入って
左側すぐ

編集後記

今回の特集は、昭和堂ゆるりのお客様サークルのご紹介です。まとまった形でのご案内がはじめてなので、不行届きのところをご容赦くださいませ。
なおNBCラジオでも毎月第3木曜午後2時スローライフ「人生輝きのオススメ」でもご紹介しています。(Y)
戦後70年という節目の年なのでしょうか、自分史のご依頼や故人の資料や写真をもとに本としてのこしておきたいのご相談がふえています。次号は、特集「過去と向き合う—被爆・戦後70周年—」を予定しています。(T)



PET-CTがん検診



日本人の死亡原因の第一位はがんです。

PET-CTはがんの正確な診断と、適切な治療のために行われる検査です。現在、早期胃がんを除くすべての悪性腫瘍と悪性リンパ腫に保険適用が拡大されました。このたび当院では自覚症状のない早期のがんの発見のためにPET-CT検診（検診は保険適用外。※料金は下記参照）を開始致しました。PET-CTがん検診は、PET-CTに加えて、肺がんCT検診、腫瘍マーカー、腹部超音波検診などを組み合わせ、がんの早期発見に繋がるプランを設定いたしました。

PET-CT室スタッフ一同



PET

陽電子放射断層撮影 (Positron Emission Tomography) の略称。

PDGというブドウ糖によく似た薬剤を使って、腫瘍を画像化して検出する検査です。

PET-CTがん検診プラン

がん検診基本コース **110,000円**
(税込118,800円)

オプションコース **130,000円**
(がん検診基本コース+検診Aコース)
(税込140,400円)

お問い合わせ、お申込みは

PET-CT室へ

☎847-1511 内線1120

電話受付時間 8:30~17:00
(土・日・祝、5月1日、年末年始休)



日本赤十字社 長崎原爆病院

〒852-8511 長崎市茂里町3-15

TEL.095-847-1511 (代表)

<http://www.nagasaki-med.jrc.or.jp/>

長崎原爆病院

検索

ACCESS アクセス

